



◎牧野幹事の榮轉

歐米視察を終へ這般歸朝した、本會幹事内務技師牧野雅樂之丞君は、歸朝後内務省土木局第二技術課に勤務して、専ら河川技術の調査に従事してゐたが、今回勅任復興局技師に榮轉し、同局道路課長兼技術試験所長の職に就かれたのは寔に慶賀に堪へない。

君が明治四十二年東大工科を出てから今日まで約十八年間専ら内務省に在つて河川道路の技術に従事し明晰な頭腦の所有者、野心のない眞の技術家として活動したことは同僚の常に敬服する所であつてモ一少し君の抱負を我が道路技術の上に移さしめたかつたが住み慣れた土木局を去つて内務省と外局とは言ふものゝ復興局に轉じたのは或は君の

爲には幸であらうが僧は何だか心惜しい感を起すのである。慥か大正七年の頃かと思ふ、君が河川技術の用務を帯びて米國に出張してゐたとき、我國でも朝野の間に道路問題が八ヶ間敷なつた、ところが斯道の權威者としては誰れ一人もゐない従て海外に於ける道路狀況の判る筈もなかつたので、時の堀田土木局長は是では心淋しいと言つて、君に對し米國道路の狀況を調査することを電命し、夫れが因と爲つて君が我が路政界の人と爲るに至つた、歸朝すると例の牧彦七博士の許で大いに研究したが、君の留守中に道路法が制定さるゝやら我が路政界は頓に緊張味を示し、研究心の旺盛な牧博士はいつの間にか道路技術の權威者と爲つてゐる、茲に於て兩氏が道路技術の論争に日を送つた。

ソレハ歐洲の舊式タイプだ、イヤ君は米國式に感じてゐるのだ。

此言葉は當時兩氏の間之交されたのであつたが、牧博士が土木試験所の設立につれ所長として轉じた後を襲つて道路主任技師と爲り、牧博士が東京市道路局長として退官す

るや又その後を襲つて試験所長と爲つた、所長時代は牧博士の定めて置いた事業計畫に従つて事業を執行したが、君の所謂歐洲の舊式タイプも一度は實見して置く必要があると言ふので一昨年歐洲を旅行し歸朝したばかりで復興局に行くのであるから僧等の遺憾に思ふのも無理ない筈である。君の行つた復興局、其の執行してゐる仕事に就ては多大の希望がある、或は之を君に責むるのは無理かも知らないが、前後道路が完成しない先に通行を許さない橋梁を架設して、巨額な架橋費を二年間も固定せしめて置くやうな不經濟的築造——是等は經理に眼の無い役人の仕事として咎め無いにしても、十間幅や二十間幅の道路を築造して置きながら街路として必要な舗装を見合せたり、現在軌道の運轉してゐることを知りながら、其の車體外幅員を狭めるやうな道路工事を執行したり、夫から夫へと随分道路に關し無自覺な遣り方は、僧の常に遺憾とする所であるが、セメチ君の入局に依つて是等の點を矯正することが出來たならば、と言ふ希望を持って、君の内務省に居ないことを辛抱

するのである。

復興事業完成年度も、日一日と切迫して計畫其のもの、適否が市民の眼前に現はれることゝ爲つた、いかに綺麗な言葉で辯解しても、適は適、不適は不適と批評さるゝであらう、自重して吾々の希望を容れて貰ひたい、此言葉を呈して君を送るのである。(路政會)

#### ◎調査部第四分科委員會

調査部第四分科委員會は、其の擔任事務の調査に全力を擧げてゐるが、七月六日午後五時から丸ノ内日本俱樂部に於て會合した、牧委員長、物部、近各委員、三浦、都筑各幹事出席し、折から上京中の坂本福岡縣土木課長も出席し前任地茨城縣に於て施行した、簡易舗装の實際に關する意見を聞き、前回に引續き水締マカダム道の説明案を議し、其の第二次審議を終り、午後十時散會したが、續いて七月十三日簡易なる路面舗装の調査會を日本俱樂部に開催し、牧委員長、物部、近各委員、三浦、佐藤、都筑各幹事其他

出席し、灼熱にも拘らず午後十時半に亘りて審議し之で水縮マカダム道、テルフォード・マカダム道、準テルフォード・マカダム道、水縮砂利道、瀝青塗裝道及瀝青マカダム道等の説明書の第一次審議を終るに至つた、其の結果に基いて作成した説明書案に就き、第二次審議を開始することに爲つてゐる、我國には今日まで此種の完全な説明書或は仕様書が無かつた爲、技術者の多くは幾多の不便を感じたのであつたが、本説明書完成の曉は、資益するところ甚大であらう、此會議に貴重な時間を割き出席せらるゝ我國道路工學界の權威者の勞は萬人に依つて、感謝せらるゝの近いことを信ずる。

### ◎特別委員會開催

七月二十日午後四時半から丸の内日本俱樂部に於て、道路技術員養成の爲による學校設立に關す事案に就て理事の特別委員會を開催した。當日は委員五名の内中川理事は旅行中であつたのと、宮崎理事は病氣の爲とて缺席し、内田、

山田、牧の三理事竝に丹羽、田中、佐藤、三浦、都筑、小島の各幹事出席した。席上田中幹事から中川理事の意見を代表して説明し、丹羽幹事は宮崎理事の意見を發表し、内田、山田、牧理事亦交々有益な意見を發表せられた。會議の結果、本會の性質から教育事業を執行することは早急の感があるので、期間六ヶ月位の講習會を開催することに決定して、午後八時散會した。

### ◎谷口囑託の榮轉

本會事務囑託谷口松雄氏は、這般道路主事に任ぜられ茨城縣に榮轉せられた。氏は廣島縣の産、大正十一年内務屬として土木局道路課に勤務し今日に至つた。頭腦明晰、文筆亦豊かで、潑刺たる元氣の所有者である。茨城縣が多數の先輩を排して特に氏を懇望したのも亦茲にあつたのである。幸、邦家路政の爲に自重せられ益々前途多幸あらむことを祈つて止まないと同時に、多年本會の爲に盡された勞苦に對し多謝する。(衛)